

事務事業名		3510 男女共同参画推進事業	予算科目	会計 一般	款 2	項 1	目 7	所管課	市民生活課	担当班	市民生活支援班	
施策体系	基本施策	15 互いに認め合う社会の形成	根拠法令	男女共同参画基本法、DV防止法等				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	施策の展開	29 男女共同参画の推進	戦略事業	次ページに記載								
	施策の展開		戦略事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない				
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 25 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	1. 旭市男女共同参画計画推進（計画期間：平成26～30年度）基本目標「男女が互いを尊重する社会づくり」、「男女が個性と能力を發揮できる環境づくり」、「男女が安全安心に暮らせる社会づくり」 2. 男女共同参画推進懇話会：男女共同参画計画の策定及び推進。委員の委嘱、懇話会の開催 3. DV等対策連絡会議：関係各課によるDVIに関する情報交換・連携 4. DVIに係る家庭相談員の設置：週3日、月額120,000円、1名 5. DV等被害者の相談に応じ、適切な支援を行い、状況によっては、緊急避難等の対応を行う。				
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等			
男女共同参画社会基本法が平成11年に制定され、旭市でも、男女が人権を尊重、責任を分担、個性と能力を發揮できる社会の実現に向けた旭市男女共同参画計画を平成25年度に策定した。また、その計画をDV基本計画として位置づけた。	女性の社会参加はまだ進んでおらず、審議会等の女性委員の割合や、女性管理職の割合は目標に達していない。 DV対策のため、DV等対策連絡会議・DVIに係る家庭相談員を設置、緊急避難支援金を予算計上。	懇話会委員より「依然として女性は結婚や出産・子育てを機に離職する傾向にある。また、男性が育児休暇・介護休暇を取得することが難しい。」との意見あり。 DV相談者から「相談できて、楽になった」「相談できてよかった」との意見あり。			

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算) 単位：千円	
1. 家庭相談員	600:DV相談等に係る家庭相談員報酬
2. 臨時雇賃金	0:
3. 報償金	84:推進懇話会委員謝礼金
4. 需用費	2:懇話会用お茶代
5. その他	0:
② 特定財源の内訳(27年度の決算) 単位：千円	
1. 国庫支出金	0:
2. 都道府県支出金	0:
3. 地方債	0:
4. その他	0:

事業費	費目内訳	1. 家庭相談員	千円	24年度(決算) 0	25年度(決算) 0	26年度(決算) 0	27年度(決算) 600	28年度(予算) 1,440
		2. 臨時雇賃金	千円	0	197	0	0	0
		3. 報償金	千円	0	180	142	84	120
		4. 需用費	千円	0	173	88	2	4
		5. その他	千円	0	289	132	0	45
	事業費計(A)	千円	0	839	362	686	1,609	
財源	1. 国庫支出金	千円						
	2. 都道府県支出金	千円						
	3. 地方債	千円						
	4. その他	千円						
	5. 一般財源	千円	0	839	362	686	1,609	

前年度増減理由	新たにDV相談に係る家庭相談員を委嘱したことによる報酬増
---------	------------------------------

従事職員数	常時 2人	最大 人	× 目 = 延べ 0人
-------	-------	------	-------------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

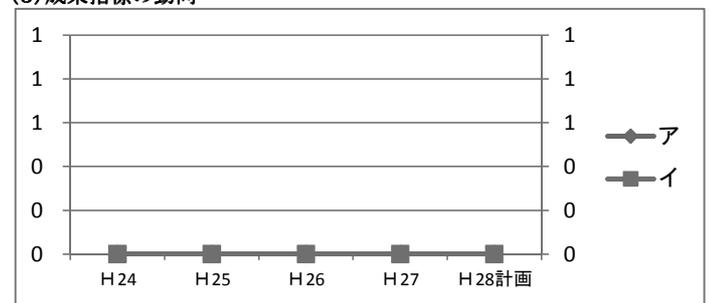
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)								
目的	対象意図		イ		24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)

次ページ(3)'に記載

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	下位 1/3	コスト比率
	普通	かなりある		中位 1/3	上位 1/3
	小さい	ある程度ある		①	②
		ほとんどない	④⑤	⑥	⑦⑧
			⑨		(8)

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難								
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	向上	横ばい	低下				
	③ 今年度取組事項	時期	内容	今後の方向性	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		例年どおり実施	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 ()	ア		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				イ		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					次ページ(6)'に記載					
					① H29.10月～2月 ①男女共同参画計画に係る市民意識調査実施及び報告書作成 ③ H30年度 ②男女共同参画計画の策定					

